

<ちょこっとコラム④⑧>

(聖書時代の生活と文化 その⑧)

羊飼い *Shepherds*

聖書の世界において羊飼いはとても身近な存在でした。イスラエル民族の父とされるアブラハムもそうであれば、ダビデ王も少年時代は羊飼いでした。また詩篇 23 篇に代表されるように、主は羊飼いにたとえられ、イエスもご自分を良い羊飼いと呼んでおられます。しかし、現実的には彼らは非常に貧しく、定住地がなく安息日を守ることができないことから社会ののけ者とされていました。救い主イエス様の誕生の知らせがそんな彼らに最初に与えられたのは奇跡であり、まさに神様のご計画でした。